

**YAMAHA**

# Miburi

—— ミブリ S3 ——

**取 扱 説 明 書**

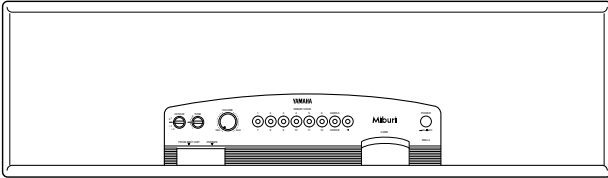
# 目次

確認してください.....	2	音量の変化( リスト・センサーL ).....	21
ご使用になる前に.....	3	音程の変化( リスト・センサーR ).....	21
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>4</b>	補助的な音色変化( シーソーコントローラー ).....	21
ウェア.....	4	ボイスの選択.....	22
ベルト・ユニット.....	4	ボイスカードの使用法.....	22
グリップ・ユニット(L, R).....	5	ベルト・ユニットでボイス選択.....	22
サウンド・ユニット.....	5	グリップ・ユニットLでボイス選択.....	23
<b>ミブリのしくみ</b> .....	<b>6</b>	サウンド・ユニットでボイス選択.....	23
センサーのしくみ.....	6	ボイス / センサー別効果リスト.....	24
<b>ミブリのセットアップ</b> .....	<b>8</b>	ボリューム / オクターブ / チューン.....	26
スタンドの組立方法( サウンド・ユニット ).....	8	ボリューム.....	26
電源の準備など.....	10	オクターブ.....	26
サウンド・ユニットと家庭用コンセントの接続.....	10	チューン.....	26
外部機器との接続について.....	10	<b>カスタマイズ</b> .....	<b>27</b>
ヘッドフォンを使うときは.....	11	センサー全体のカスタマイズ.....	27
センサーケーブル・ユニットの取り付け.....	12	センサー別カスタマイズ.....	28
ベルトの長さ調節.....	13	<b>練習曲を演奏してみましょう</b> .....	<b>30</b>
<b>音を出す準備</b> .....	<b>14</b>	きらきら星( フランス民謡 ).....	30
1 ウェアを着ます.....	14	オーラ リー( イギリス民謡 ).....	32
2 センサーを固定します.....	14	ロンドンデリーの歌( イギリス民謡 ).....	別紙
3 ベルト・ユニットを装着します.....	14	MIDIについて.....	34
4 コードを接続します.....	15	MIDIとは?.....	34
5 サウンド・ユニットの電源を入れます.....	16	MIDI端子について.....	34
6 ベルト・ユニットの電源を入れます.....	16	MIDI送信チャンネルの設定.....	34
7 サウンド・ユニットを調整します.....	16	MIDIインプリメンテーションチャート.....	35
カスタマイズ.....	17	初期化( イニシャライズ )の方法.....	36
スレッシュホールドについて.....	17	エラーメッセージについて.....	36
<b>演奏してみましょう</b> .....	<b>18</b>	故障かな? と思ったら.....	37
音階のポーズを覚えましょう.....	18	オプション商品のご紹介.....	38
音を出すには.....	19	ミブリ仕様.....	38
発音させてみましょう.....	20	索引.....	39
いろいろな効果をつけてみましょう.....	20	保証とアフターサービス.....	40
音色の変化( ショルダー・センサーL, R ).....	20		

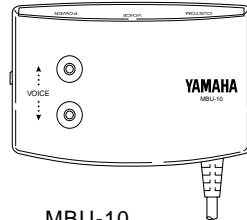
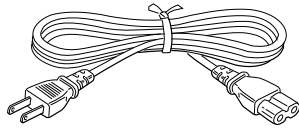
# 確認してください

パッケージを開けたらミブリの同梱品を確認してください。

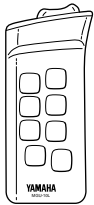
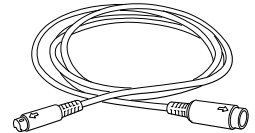
## ミブリ本体パーツ



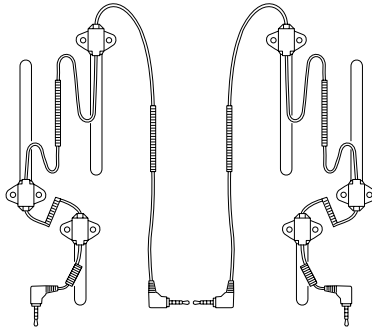
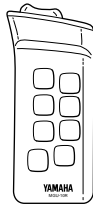
MSU-3  
サウンド・ユニット×1  
ACコード×1



MBU-10  
ベルト・ユニット×1  
中継ケーブル×1



グリップ・ユニット  
(MGU-10)×2(L, R)

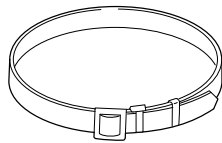


センサーケーブル・ユニット(MSR-10)×2

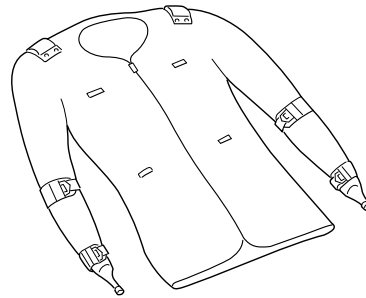


ボイスカード(MVC-01)×1

## ウェア(MWS-10:店頭渡し)



ベルト×1

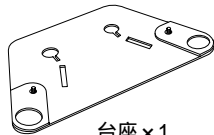


ウェア×1

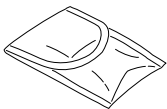
## スタンド(MST-10 組立パーツ)



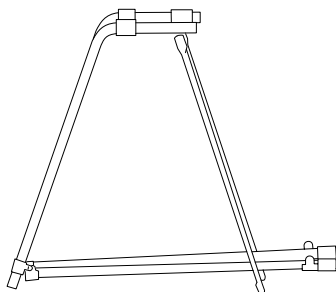
ボトムプレート×1



台座×1



ネジ用小ケース×1  
(コード・ホルダー×1、ネジ×6)



スタンド本体×1

## その他の同梱品

キャリング・ケース(MCC-10)×1

保証書

愛用者カード

取扱説明書(本書)

## ご使用になる前に



### 電源について

この製品は日本国内仕様です。電源は必ずAC100V(50Hzまたは60Hz)を使用してください。AC100V以外の電源は絶対に使用しないでください。(電源コードの接続についてはP.10を参照してください)

ご使用にならないときは、電源(POWER)スイッチを切ってください。

長時間ご使用にならないときは、電源コードを家庭用コンセントから外してください。

落雷などの危険のある場合は、電源コードを家庭用コンセントから外してください。

消費電力の大きな機器と同じコンセントを使用したり、タコ足配線をする、音質が劣化するばかりでなく、故障などの原因となりますのでご注意ください。



### 取り扱い

物をぶついたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。ウェアやセンサーを身に付けたまま、水に入らないでください。

センサーやボタン、スイッチ、コード類を折ったり踏んだり、ねじったり、無理な力を加えないでください。

演奏者の転倒、および本体の転倒を防ぐため、コードに引っ掛からないよう、注意してご使用ください。

コード類を外すときは、プラグを持って外してください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。

センサーは消耗品です。(毎日2時間使用した場合で約1年を目安とします。)代替品は、お買い求めの店にご注文ください。



### 設置場所

次のような場所で使用しますと、変形、変色、故障の原因となりますのでご注意ください。

窓際や車内など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。

温度の特に低い場所。

湿気やほこりの多い場所。

振動の多い場所。



### お手入れ

ウェアが汚れた場合は、センサー、およびコード類をすべて外し、ウェアのファスナー、ボタンを閉じて洗濯してください。その他ウェアに記述してある注意事項をお読みください。

グリップ・ユニット、ベルト・ユニット、サウンド・ユニット、各センサーの汚れは柔らかい布でカラダキしてください。また、汚れのひどいときは少し湿らせた布で拭いてください。(アルコールやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。)

グリップ・ユニット、ベルト・ユニット、サウンド・ユニット、各センサーの上にビニール製品を置かないでください。貼りついてしまうことがあります。



### 改造について

ミブリを改造したり、内部を開けたりすることは故障や事故につながりますので、絶対にしないでください。改造された後の保証はいたしかねます。



### 他の電気機器への影響

ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

不適切な使用による故障につきましては、保証いたしかねます。

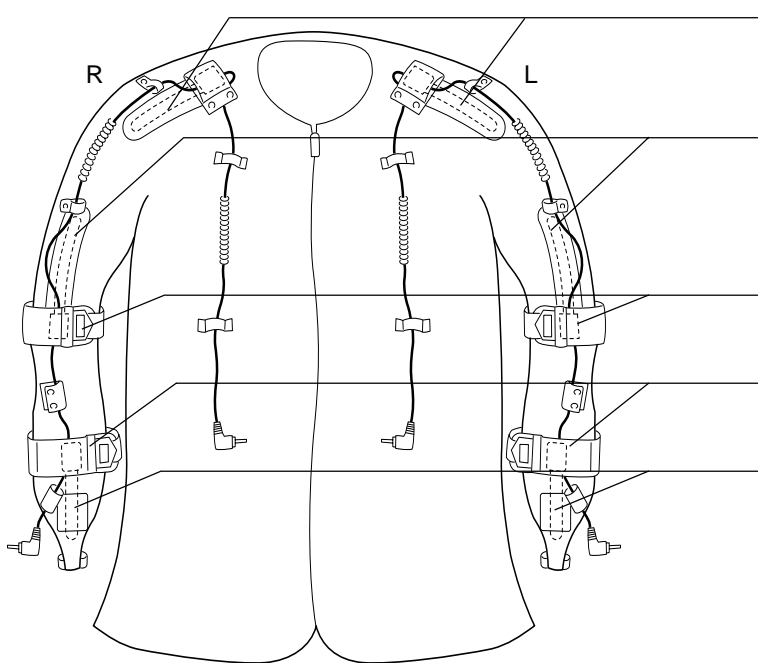
## 音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのロゴマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもしろい)を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

## ウェア(MWS-10)



ショルダー・センサー(L, R) 20ページ

ショルダー(肩や腕全体)の動きを電気信号に変換します。各ボイスごとに、左肩(L)、右肩(R)で異なった効果が得られます。

エルボー・センサー(L, R) 18, 19ページ

エルボー(ひじ)の動きを電気信号に変換します。左ひじ(L)、右ひじ(R)の曲げ方の組み合わせでドレミファソラシドの音階を指定します。

センサー固定ベルト(エルボーL, R) 14ページ

エルボー・センサーをひじに固定します。

センサー固定ベルト(リストL, R) 14ページ

リスト・センサーを手首に固定します。

リスト・センサー(L, R) 21ページ

リスト(手首)の動きを電気信号に変換します。左手首(L)を外側に曲げると音量が大きくなり、内側に曲げると音量が小さくなります。また、右手首(R)を外側に曲げると音程が上がり、内側に曲げると音程が下がります。小さく振るとピブラート効果が得られます。

\* このイラストは、ウェアにセンサーケーブル・ユニットを装着した状態です。装着方法はP.12を参照してください。

## ベルト・ユニット(MBU-10)

R SENS. IN(Rセンサーイン) 端子 15ページ

R側のセンサーケーブル・ユニットを接続する端子です。

POWERランプ 16ページ

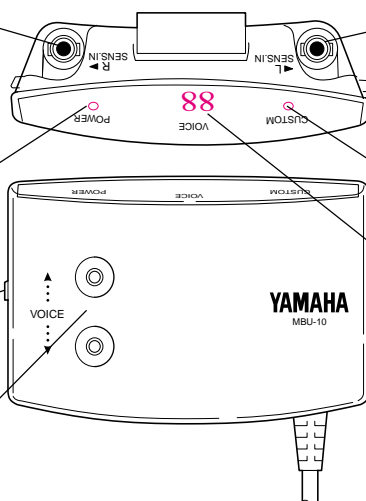
ベルト・ユニットの電源が入ると点灯します。

POWERスイッチ 16ページ

ベルト・ユニットの電源をON/OFFします。

VOICE /VOICE ボタン 22ページ

ボイスナンバーを切り替えます。VOICE ボタンを押すと、ボイスナンバーがひとつ増加し、VOICE ボタンを押すと、ボイスナンバーがひとつ減少します。



L SENS. IN(Lセンサーイン) 端子 15ページ

L側のセンサーケーブル・ユニットを接続する端子です。

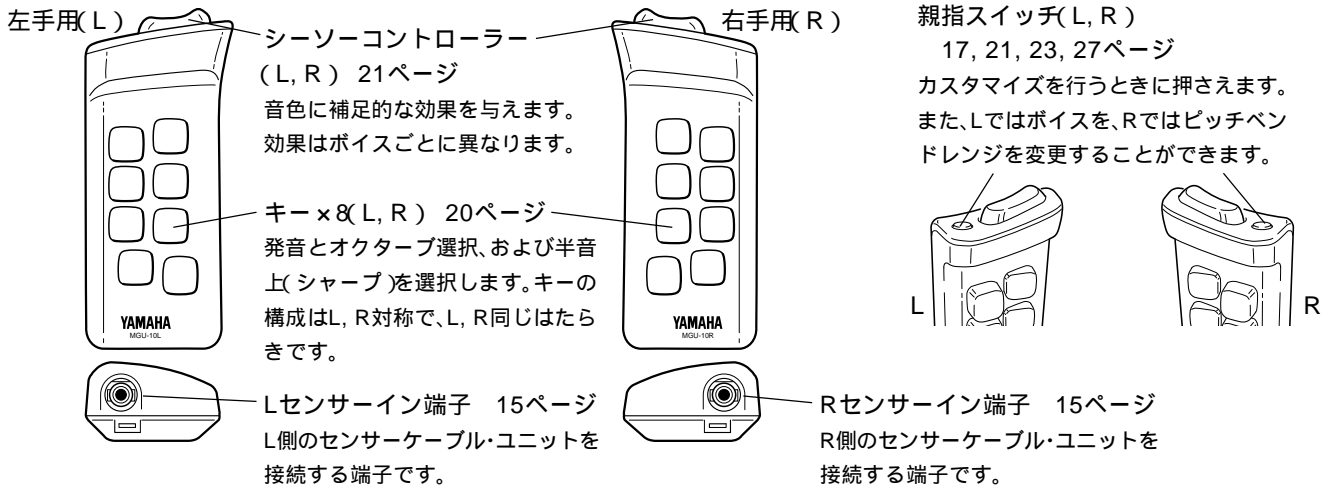
CUSTOMランプ 17, 27ページ  
カスタマイズ中に点灯します。

ディスプレイ 16, 27ページ  
ボイスナンバー、各センサーのカスタマイズ設定、エラーメッセージなど、さまざまな情報を表示します。

CUSTOMスイッチ 17, 27ページ  
カスタマイズを実行するときに動きます。

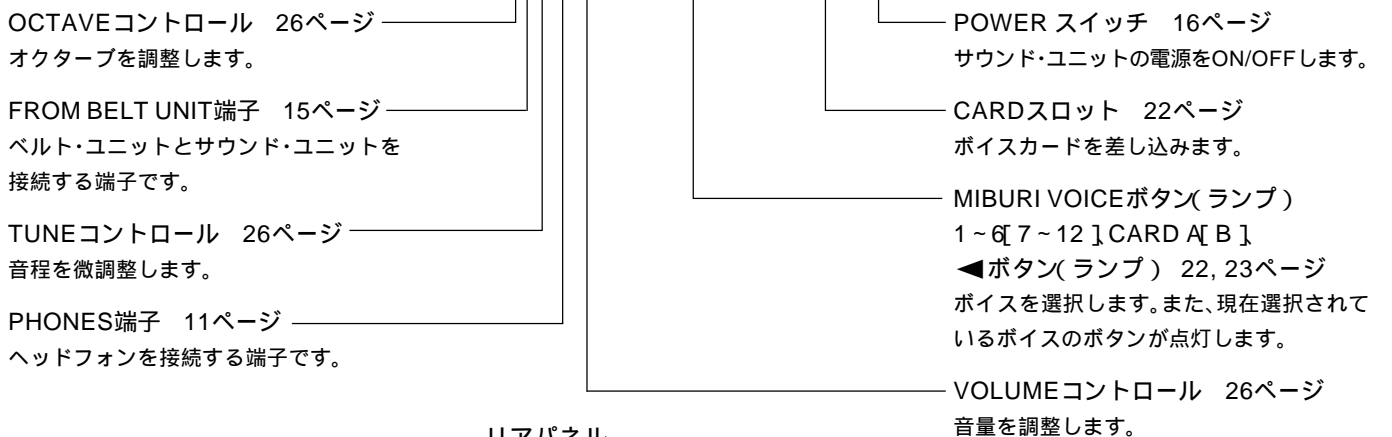
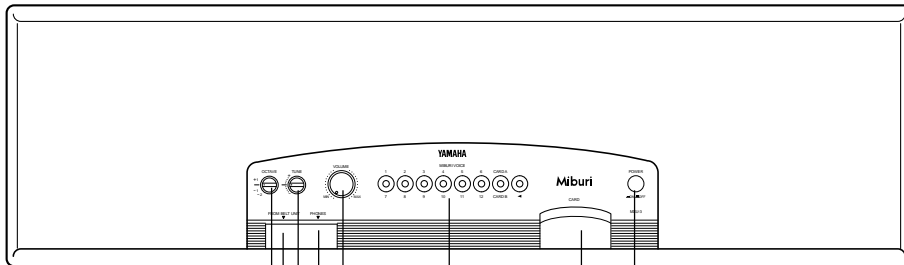
EXT. IN(エクスターナルイン) 端子  
将来に備え、外部センサーなどを接続する拡張端子です。

## グリップ・ユニット(L, R) (MGU-10L, MGU-10R)

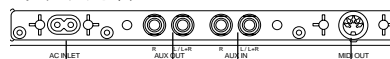


## サウンド・ユニット(MSU-3)

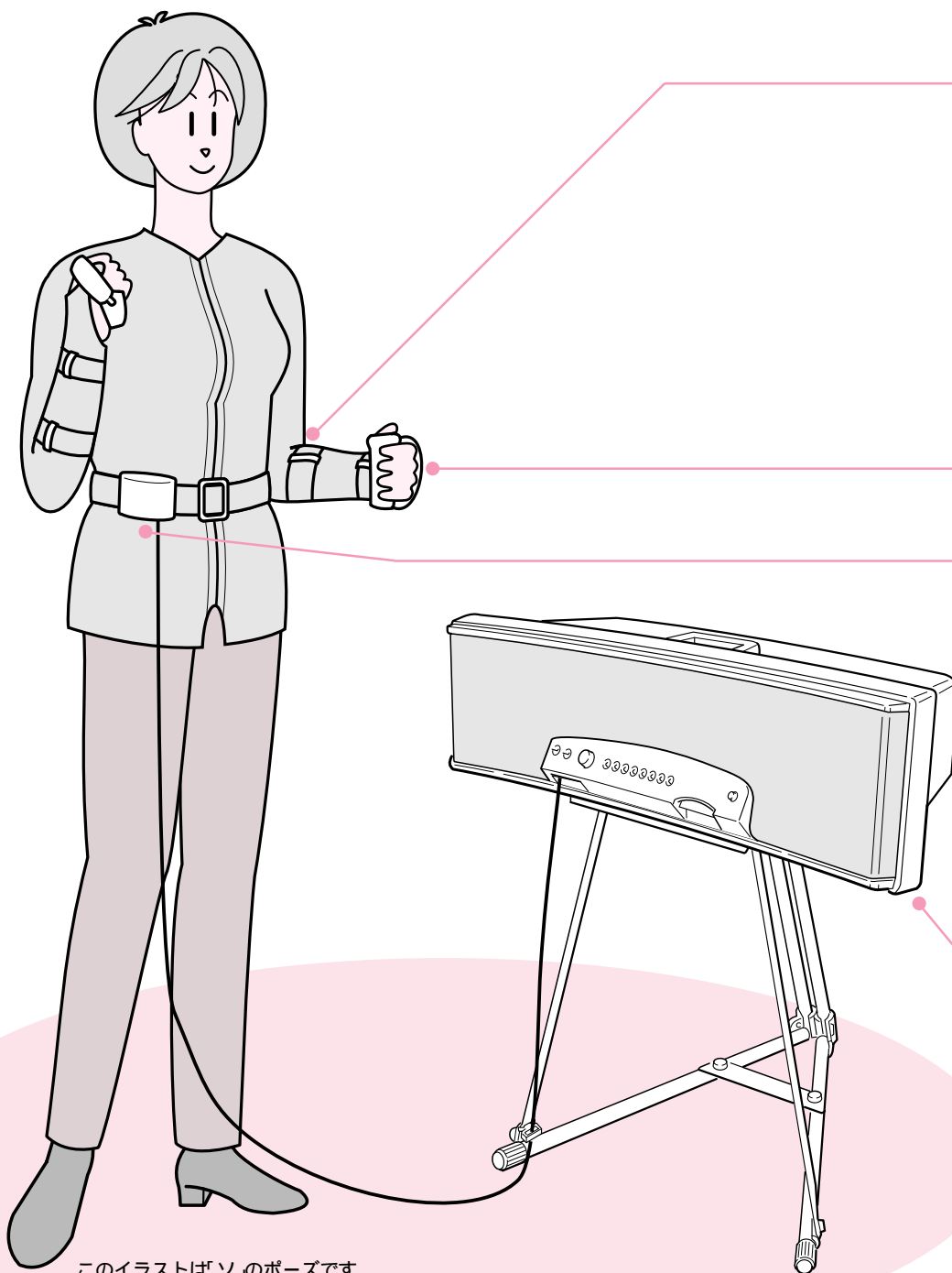
フロントパネル



リアパネル

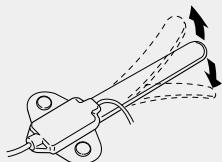






このイラストは『ソ』のポーズです。

### センサーのしくみ



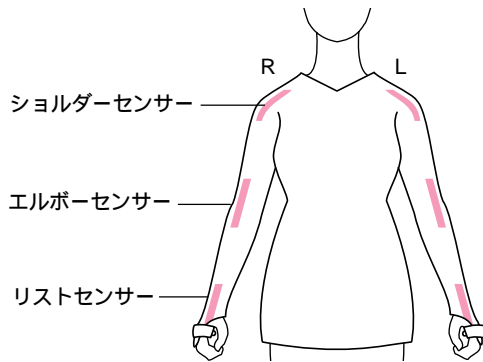
ミブリのショルダー・センサー、エルボー・センサー、リスト・センサーは、それぞれの関節の「曲がり具合」を検知します。関節を曲げることで、各センサーは、伸び縮みした量を電気信号に変換して送り出します。

エルボー・センサーは3段階の変化(伸ばした状態、およそ90度の角度に曲げた状態、いっばいに曲げた状態)を検知します。ショルダー・センサー、リスト・センサーは連続的な変化をデータ化します。ミブuriはこれらのセンサーの情報で音を作ります。

1

音階のポーズをとります

6つのセンサー



ミブリーには6つのセンサー(シヨルダー[肩:L, R]、エルボー[ひじ:L, R]、リスト[手首:L, R])があります。センサーは、身体の動きを電気信号に変換するための最も重要な部分です。

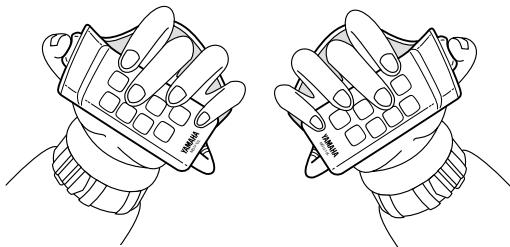
音階(ドレミ...)は、両ひじのエルボー・センサー(L, R)の「曲がり具合」で表現します。

\* 両肩のシヨルダー・センサー(L, R)では音色を、左手首のリスト・センサー(L)では音量を、右手首のリスト・センサー(R)では音程を、変化させます。( 20, 21ページ)

2

キーを押さえます

グリップ・ユニット



グリップ・ユニットのキーを押すと、発音します。

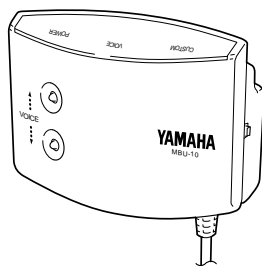
人差し指から小指までの指でオクターブ、および半音階(シャープ)を選択します。

\* グリップ・ユニットは左右対称の構造になっています。左右のキーのはたらかきは共通です。

3

情報をまとめ、送信します

ベルト・ユニット

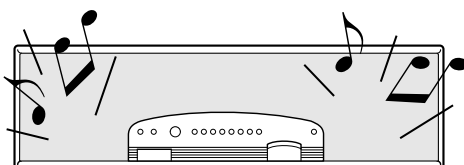


ベルト・ユニットは、各センサーやグリップから送られてきた情報を、まとめてサウンド・ユニットに送信します。

4

発音します

サウンド・ユニット

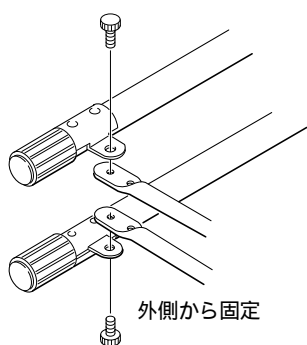
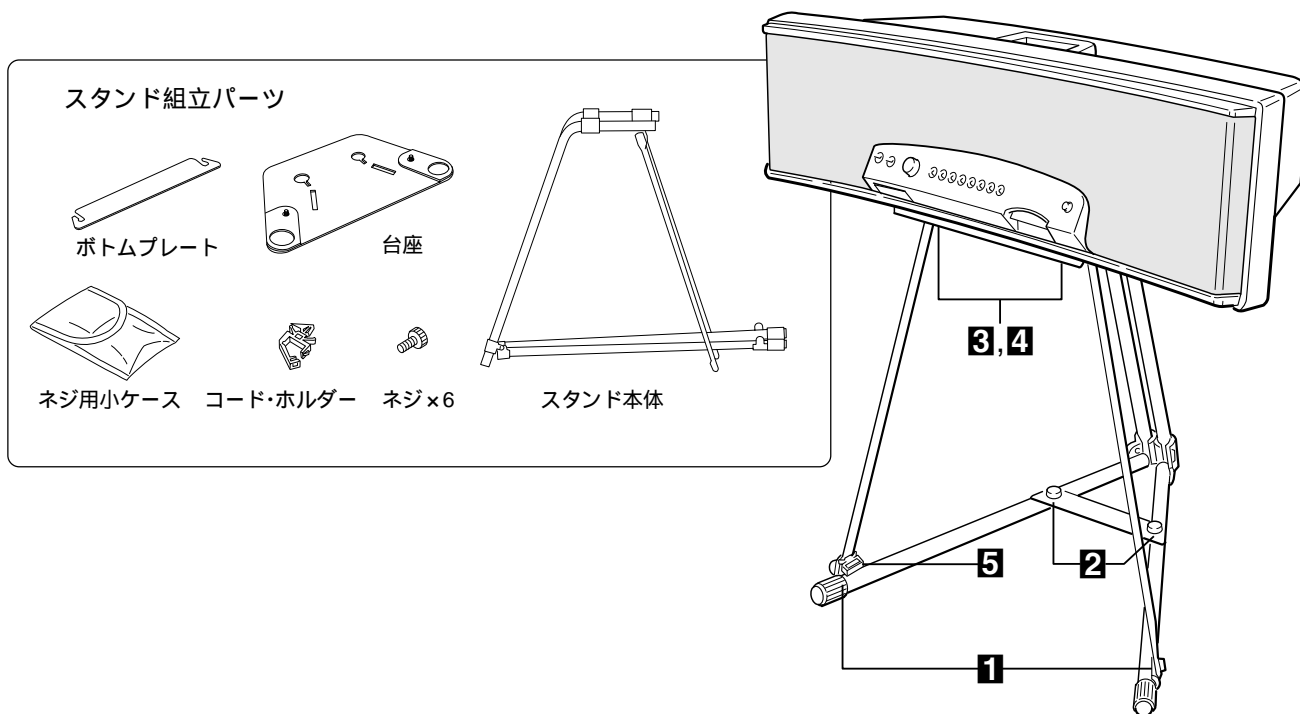


ベルト・ユニットから送信されたデータをもとに、サウンド・ユニットで発音します。

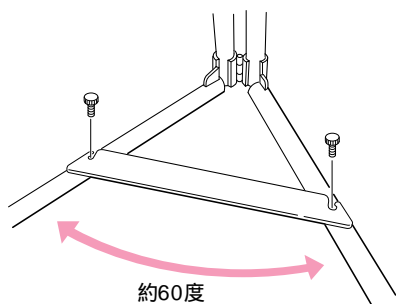


## スタンドの組立方法(サウンド・ユニット)

サウンド・ユニットは演奏する状況に応じてスタンドに取付けるとたいへん便利です。  
イラストを参考にスタンドを組み立てて、MSU-3を取付けてください。

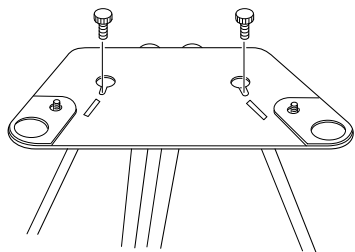


- 1** スタンドフレームを広げ、ネジ(2個)でステー(シルバー)とフレーム(黒)を固定します。ステーをフレームの内側にして、外側から固定してください。

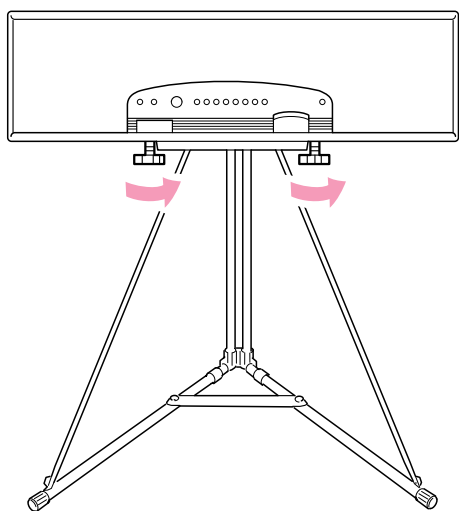


- 2** スタンドフレームを左右約60°に広げ、ネジ(2個)でボトムプレートをフレームに固定します。

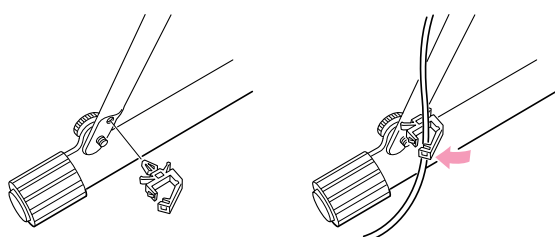
## ミブリのセットアップ



- 3** ネジ(2個)で台座をフレームに固定します。台座はフェルトが付いている方を上にしてください。

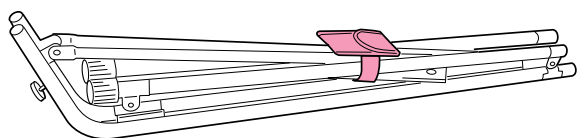


- 4** サウンド・ユニットを台座に乗せ(サウンドユニットの丸い足をフェルトの穴に合わせて載せます)台座の裏にあるネジ(2ヶ所)でサウンド・ユニットと台座を固定します。



コードを通してから  
フタをします。

- 5** コード・ホルダーを左側ステーに取付けます。中継ケーブルをホルダーに通して固定します。(サウンド・ユニットの転倒防止用)

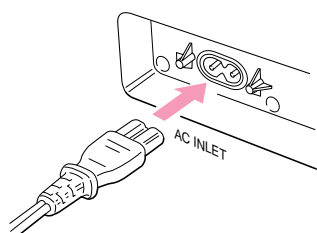


\* ミブ리를持ち運ぶ時は、スタンド本体をたたんでネジ用小ケースのマジックベルトで固定すると便利です。

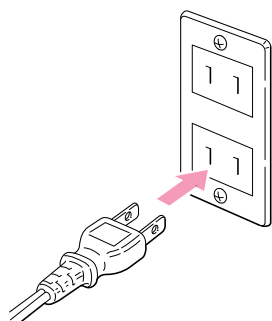
## 電源の準備など

### サウンド・ユニットと家庭用コンセントの接続 .....

付属のACコードを使用して、家庭用コンセントから電源をとります。

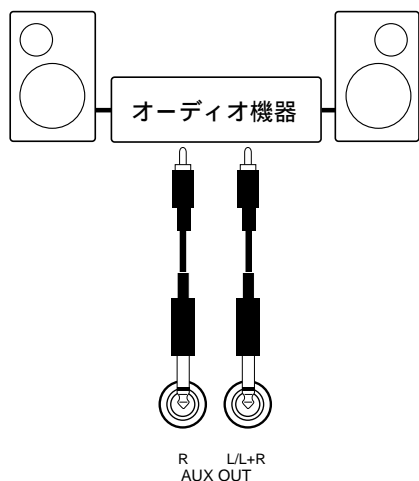


- 1 ACコードのプラグを、サウンド・ユニットのリアパネルのAC INLETに差し込みます。



- 2 ACコードのプラグを、家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

### 外部機器との接続について .....

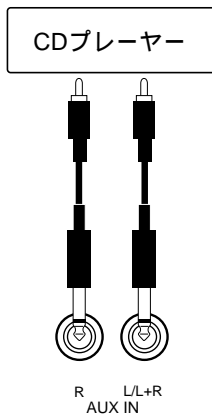


#### AUX OUT L/L + R, R端子

ミブリの音声信号を外部機器に出力します。アンプ内蔵のスピーカーシステムやオーディオ機器など、ミブ리를鳴らす外部機器と接続します。

また、モノラル機器に接続する場合は、L/L + R端子側に接続します。左右のチャンネル信号が混ぜ合わされ、モノラル信号で出力されます。

\* AUX OUT端子から出力した信号を、直接、または外部装置を経由してAUX IN端子に戻すことは絶対にしないでください。発振を起こし、内部機器の損傷の原因になります。



## AUX IN L/L + R, R端子

外部機器の音声信号をミブりに入力します。入力した信号は、ミブリの音声信号と混ぜ合わされて、ミブリのスピーカーで鳴ります。(この信号はAUX OUT L/L + R, R端子から出力されます。)また、モノラルの音声信号を入力する場合は、L/L + R端子側に接続するとL, Rに音声信号が出力されます。

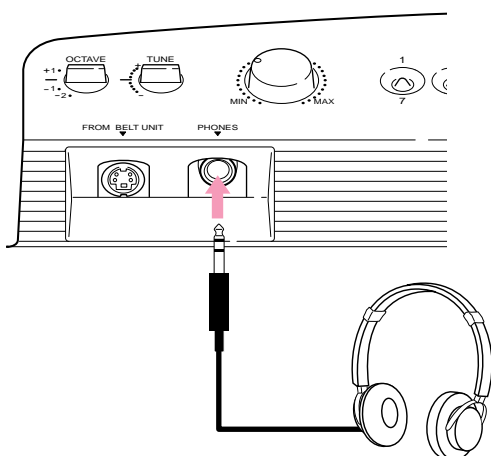


MIDI OUT

## MIDI OUT端子

ミブリの演奏情報をMIDI信号として、他のMIDI機器に送信します。

## ヘッドフォンを使うときは .....



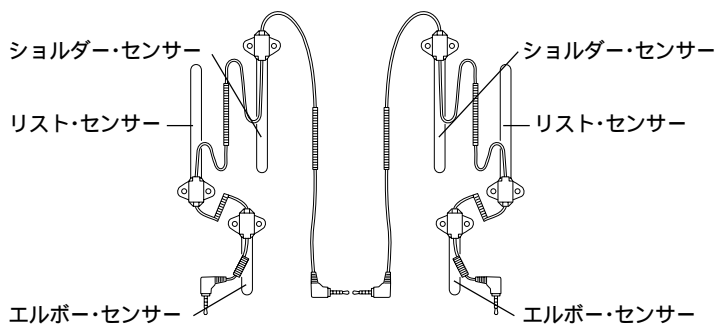
ヘッドフォンを使用する場合は、サウンド・ユニットのフロントパネルのPHONES端子に接続します。

- \* ヘッドフォンをご使用になる場合は、VOLUMEコントロールで音量を調節して、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。
- \* ヘッドフォンはヤマハHPE-170、またはHPE-160をお勧め致します。他のプラグ変換アダプター付きのヘッドフォンをご使用になるとアダプターが内部で抜けてしまい、取り出せなくなる可能性があります。

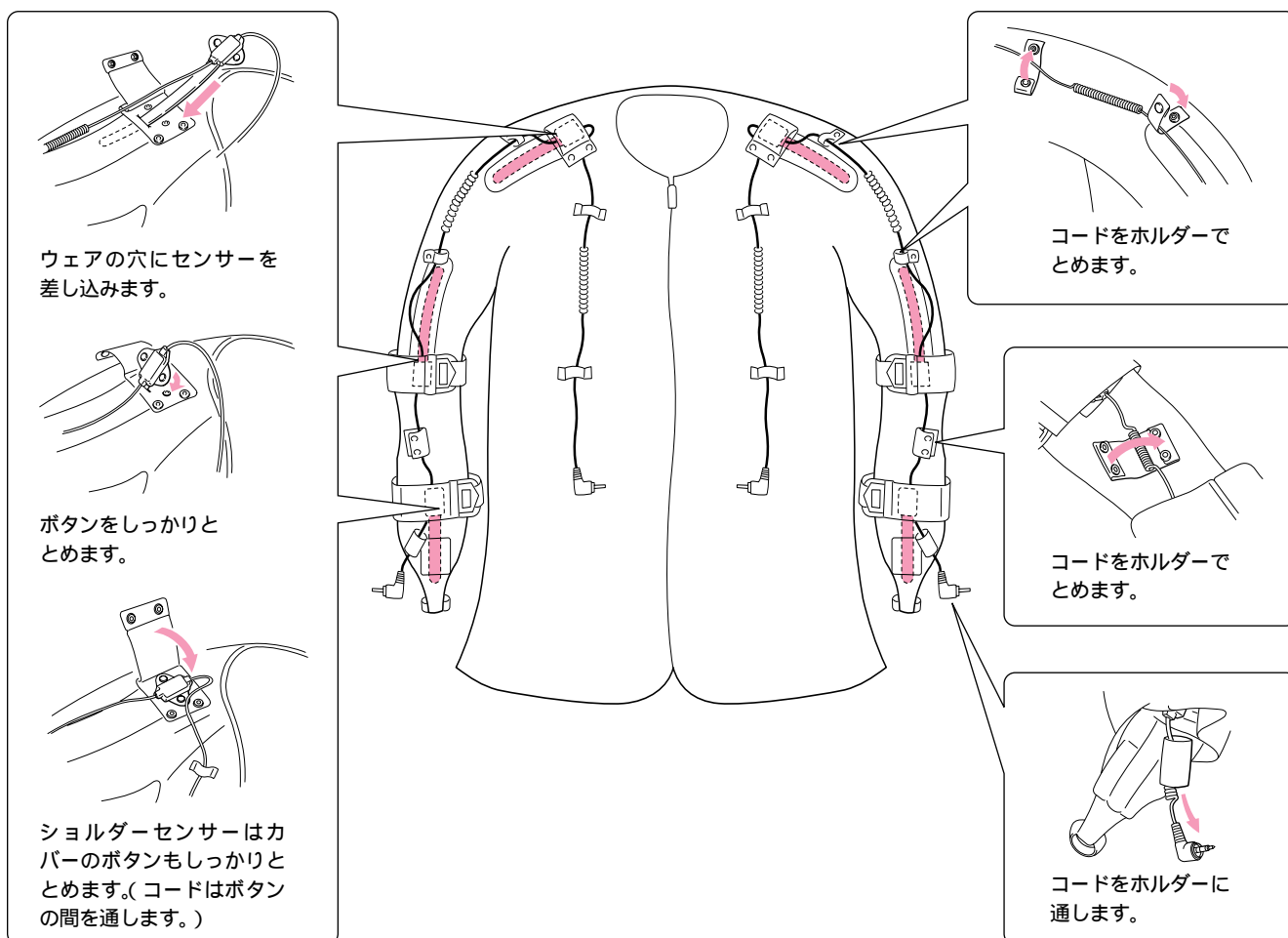
## センサーケーブル・ユニットの取り付け

ウェアの両腕にセンサーケーブル・ユニットを取り付けます。下図を参考に、上下の方向を間違えないように取り付けてください。各センサー、およびコードはボタンでしっかりと固定してください。

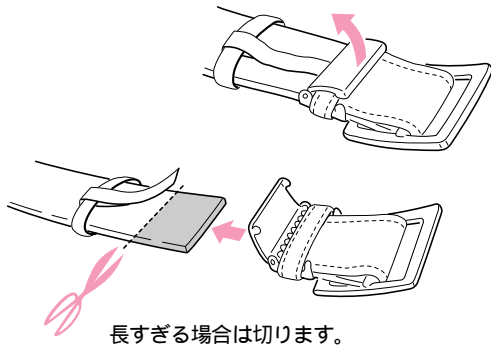
### センサーケーブル・ユニット



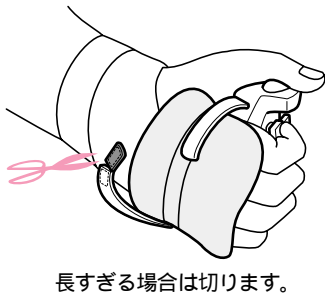
\* 2つのセンサーケーブル・ユニットは、ウェアの左右どちら側に取り付けても構いません。



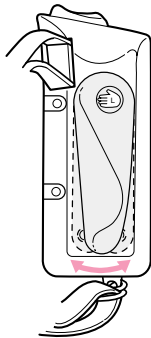
## ベルトの長さ調節



ウェアのベルトが長すぎる場合は、適度な長さに切ってご使用ください。

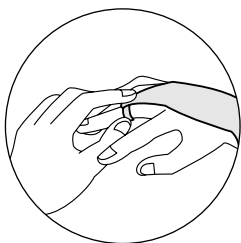


グリップ・ユニットのベルトは、マジックテープで長さを調節します。ベルトが長すぎる場合は、適度な長さに切ってご使用ください。

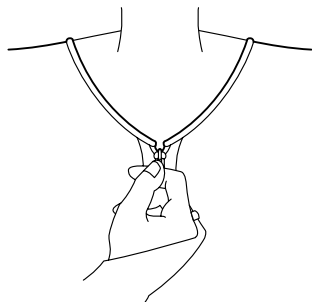


グリップ・ユニットの裏側には3段階のアジャスターがあります。軽く持ち上げながら、いちばん握りやすい部分に動かしてください。

## 1 ウェアを着ます .....



中指を通します。

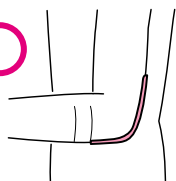


ウェアの袖を通し、両手の先にある輪を中指に通し、ウェアを着ます。ファスナーをしっかりと上まで引き上げます。ベルト(腰)を締めます。

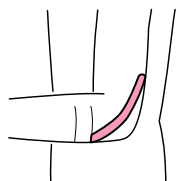
\* ウェアを着る前に、時計・指輪などは外してください。ウェアが引っ掛かって、損傷する場合があります。

## 2 センサーを固定します .....

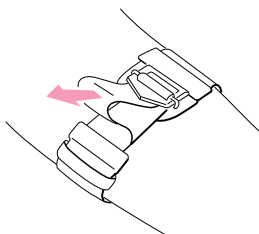
○



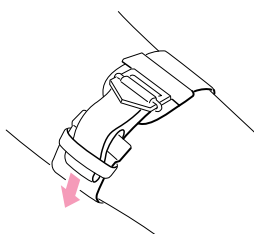
×



エルボー・センサーをひじの外側に、リスト・センサーを手の甲から手首の外側にあてて、センサー固定ベルトで固定します。

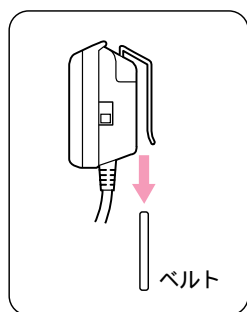


ベルトを引っ張って固定

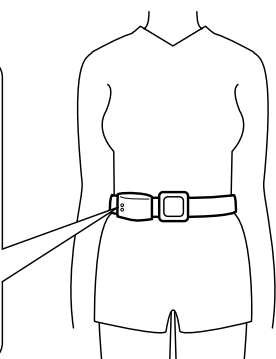


引っ張ったベルトはホルダーに固定します。

## 3 ベルト・ユニットを装着します .....



横から見た図

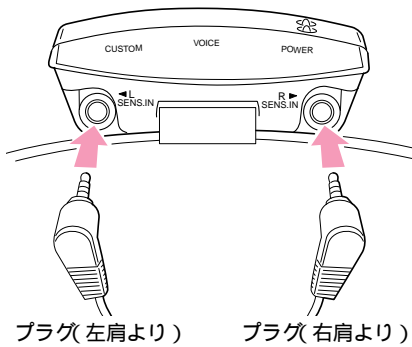


ベルト・ユニットをベルトに装着します。

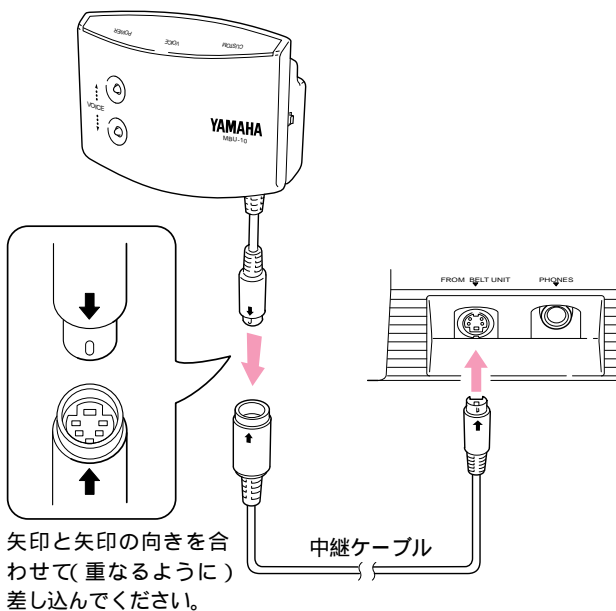


## 4 コードを接続します

以下の接続の前にサウンドユニットのPOWERスイッチがオフになっていることを確認してください。

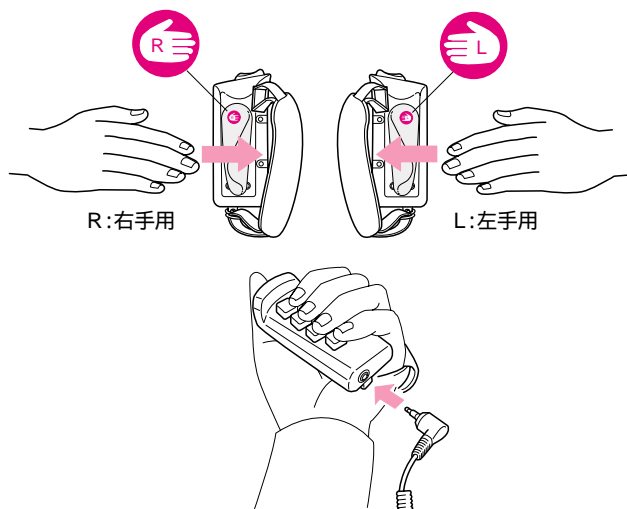


ウェアの左肩に接続されているプラグを、ベルト・ユニットのL SENS. INジャックに、右肩に接続されているプラグを、ベルト・ユニットのR SENS. INジャックに接続します。



中継ケーブルで、ベルト・ユニットから出ているコードとサウンド・ユニットのFROM BELT UNIT端子を接続します。左のイラストを参照して、プラグと端子の方向を間違えないように接続してください。

- \* ケーブルの抜き差しはプラグを持って行ってください。(コードを引っ張ると断線の原因になります。)
- \* 中継ケーブルを使用せずに、ベルト・ユニットを直接サウンド・ユニットに接続しないでください。不用意に動いた場合に演奏者、またはサウンド・ユニットが転倒する原因になります。

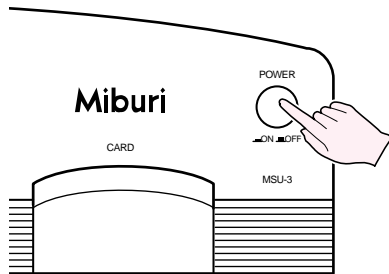


グリップ・ユニットを左右間違えないように握り(L=左手用、R=右手用)ウェアの両袖にあるプラグを、グリップ・ユニットの小指側にあるジャックに接続します。

- \* グリップ・ユニットをセンサーケーブル・ユニットにぶら下げた状態にしないでください。(断線の原因になります。)

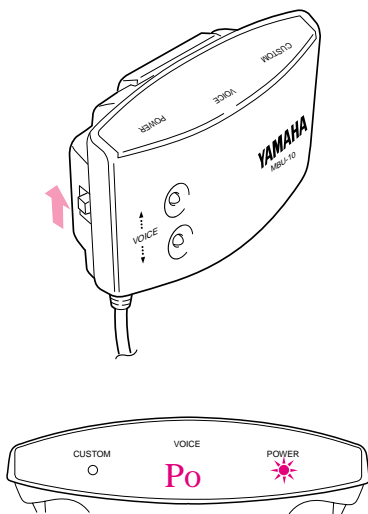
## 音を出す準備

### 5 サウンド・ユニットの電源を入れます .....



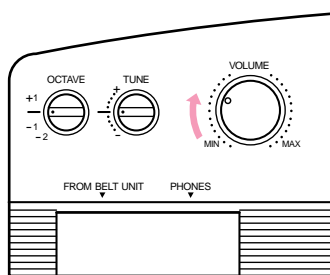
サウンド・ユニットのVOLUME(ボリューム)がMINの位置に設定されていることを確認してから、POWERスイッチを押します。電源が入ると、VOICEボタンが点灯します。

### 6 ベルト・ユニットの電源を入れます .....



ベルト・ユニットのPOWERスイッチを上を動かし、電源を入れます。POWERランプが点灯し、ベルト・ユニットのディスプレイは“Po”(パワーオン)を表示した後、ボイスナンバーを表示します。

### 7 サウンド・ユニットを調整します .....



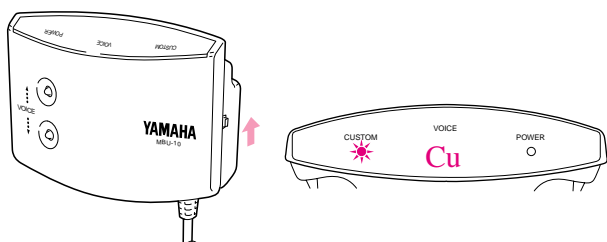
左のイラストを参考に、VOLUME(ボリューム)を適度な位置に設定します。

OCTAVE(オクターブ)、TUNE(チューン)は“ - ”に設定します。

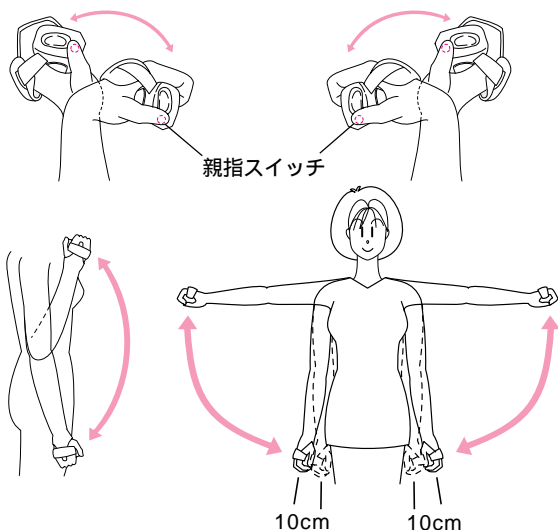
## カスタマイズ

ミブ리를演奏する人それぞれの身体の動きの大きさ(動作幅)を、ベルト・ユニットに記憶させます。

- \* カスタマイズを実行する前に、サウンド・ユニットとベルト・ユニットの電源が入っていることを確認してください。
- \* カスタマイズに関する詳細は、27ページをご参照ください。



**1** ベルト・ユニットのCUSTOM(カスタマイズ)スイッチをON側にスライドさせ、カスタマイズ実行モードにします。ディスプレイに“Cu”が表示され、消灯します。CUSTOMランプが点灯します。(カスタマイズモード)

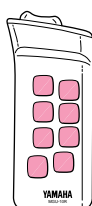


**2** グリップ・ユニット(両手)の親指スイッチを押しながら、両手の手首を左右に、次にひじ、さらに肩(腕全体)を上下に大きく1往復以上動かします。肩を動かす場合は、肩(腕全体)の動作幅の最小値は、腕をまっすぐに下ろした位置から、10cm程度上げた位置に設定してください。手首とひじはできるだけまっすぐ伸ばしてください。

- \* 親指スイッチを押ししている間、ベルト・ユニットのディスプレイのドット(「c」と「u」の右下に表示されます。左のドット=L、右のドット=Rです。)が点灯します。
- \* 手首、ひじ、肩を動かす順番は自由です。

**3** グリップ・ユニット(両手)の親指スイッチを離すと、新しい値を記憶します。

- \* ベルト・ユニットは、電源を切ってもケーブルをはずしてもカスタマイズした内容を約2週間記憶しています。



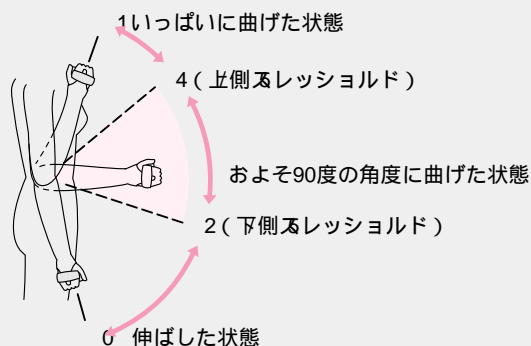
いずれかのキーを押します

**4** グリップ・ユニット(L、またはR)のナチュラルキー、またはシャープキーのいずれかを押し、カスタマイズモードから抜けます。

## スレッシュヨルド(境界線)について

スレッシュヨルドとは、ひじの角度で音階が切り替わる境界線です。エルポー・センサーは、3段階(伸ばした状態、およそ90度の角度に曲げた状態、いっぱい曲げた状態)に分けるため、上側と下側、2つのスレッシュヨルドがあります。

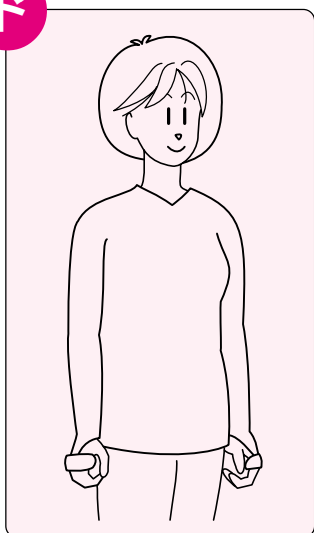
- \* スレッシュヨルドの位置は、伸ばした状態からいっぱい曲げた状態までを「1」として、下側スレッシュヨルドが「2/5」、上側スレッシュヨルドが「4/5」になります。



## 音階のポーズを覚えましょう

ミブリの音階は、下の図のようにエルボー・センサー(L, R)の「曲がり具合」の組み合わせで指定します。「ミ」と「ソ」のポーズは2種類ずつあります。演奏状況に合わせて、2種類のポーズを使い分けてください。

ド



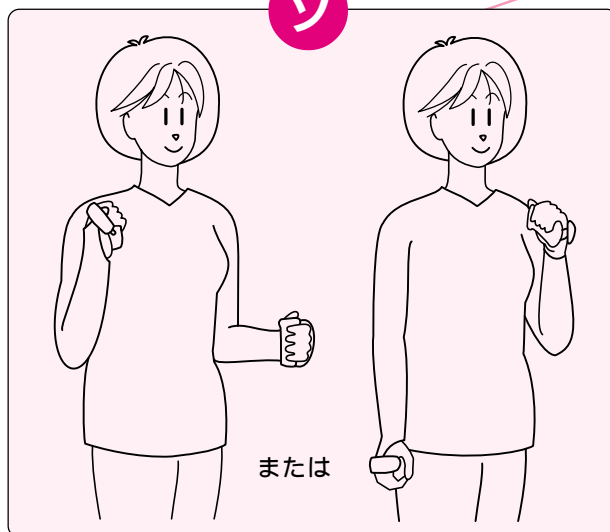
レ



ファ



ソ

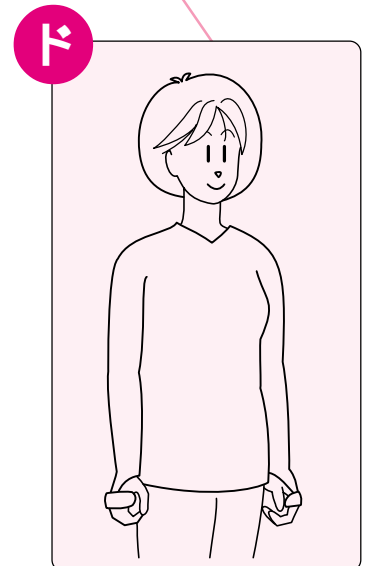
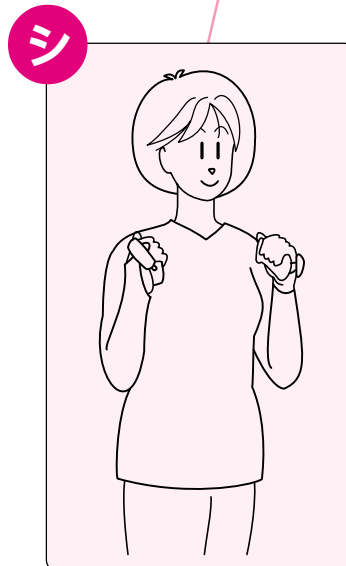
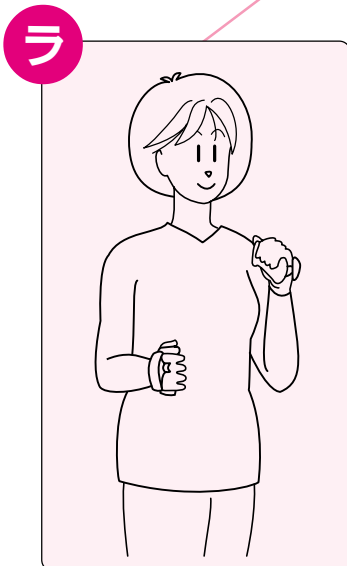
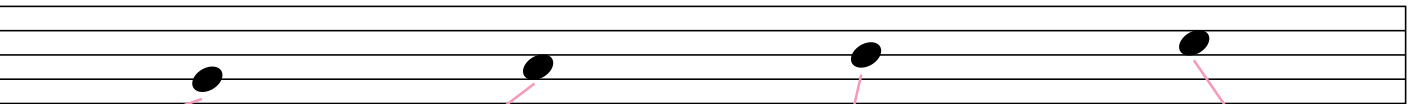
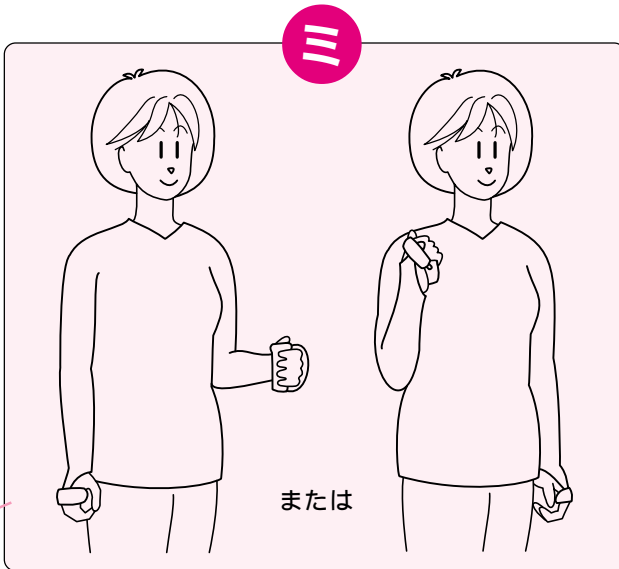


音を出すには...

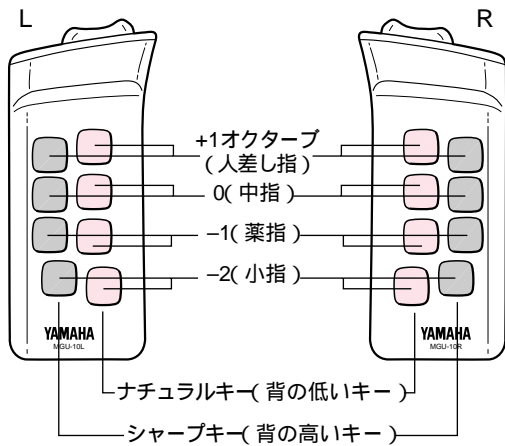
グリップユニットの中指のナチュラルキーを押して「ドレミファソラシド」を練習してみましょう。



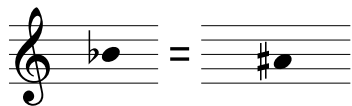
左右のグリップ・ユニットは同じ機能です。  
高い「ド」は、人差し指のナチュラルキーを押します。  
(次頁参照)



## 発音させてみましょう



フラットの例



「シ」のフラットは「ラ」のシャープを使用します。

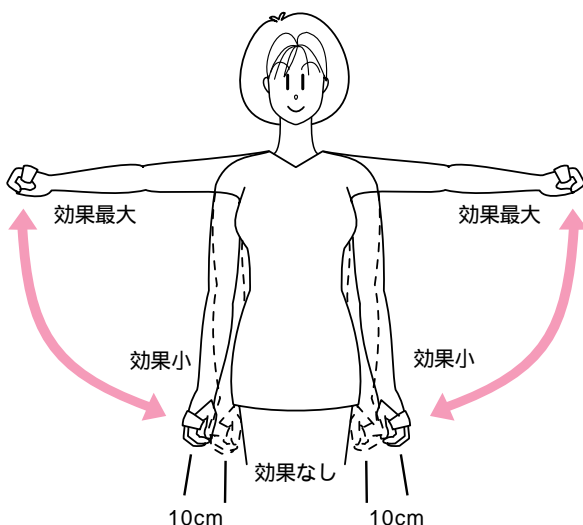
グリップ・ユニット(L、またはR)のいずれかのキーを押すと、発音します。左右のグリップ・ユニットのキーの配列は対称ですが、はたらきは同じです。人差し指から小指までの指でオクターブ、および半音上(シャープ)を選択します。

ナチュラルキー(背の低いキー)を押すと、普通の音階(ドレミファ)で鳴ります。人差し指から小指に向かうにしたがって、1オクターブずつ低くなり、4オクターブの演奏ができます。シャープキー(背の高いキー)はナチュラルキーより半音高く鳴ります。

- \* グリップ・ユニットは左右対称の構造になっています。左右のキーのはたらきは共通です。
- \* ベロシティ(キーを押す速さ)によって音の大きさと音質が変わります。
- \* サウンド・ユニットのOCTAVEコントロールが「0」の状態、「ド」のポーズをとって中指のナチュラルキーを押さえると「C3」が鳴ります。
- \* フラットキーはありません。シャープキーを使用してください。
- \* 「ミ」のシャープは「ファ」が鳴り、「シ」のシャープは「ド」が鳴ります。

## いろいろな効果をつけてみましょう

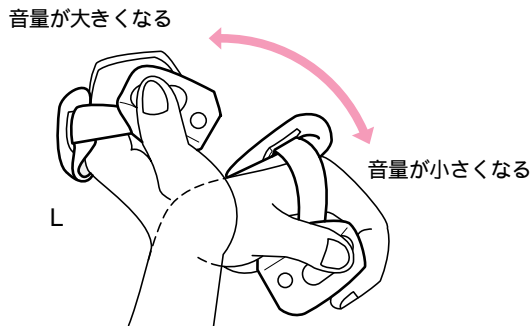
音色の変化(ショルダー・センサーL、R).....



腕全体(ショルダー・センサーL、R)を上下に動かすと、音色に表情をつけることができます。左右の効果、また上下の効果の大きさはボイスによって異なります。(24ページ「ボイス/センサー別効果リスト」参照)

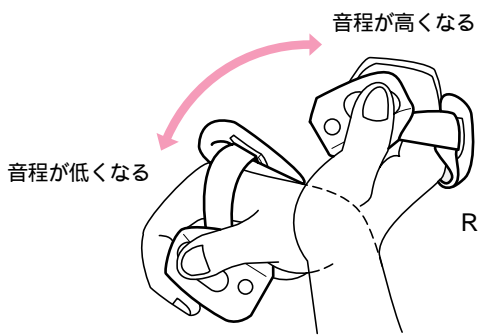
- \* ショルダー・センサーは、水平の状態が最大の効果が得られます。水平より上に動かしても、効果は増しません。

音量の変化( リスト・センサーL ).....



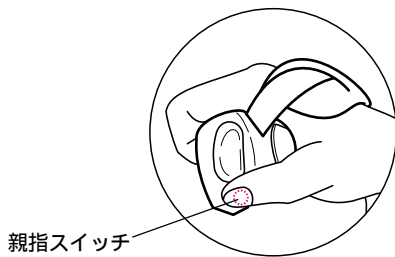
左手首( リスト・センサーL )を動かすと、音量をコントロールすることができます。外側に曲げると音量が大きくなり、内側に曲げると音量が小さくなります。

音程の変化( リスト・センサーR ).....



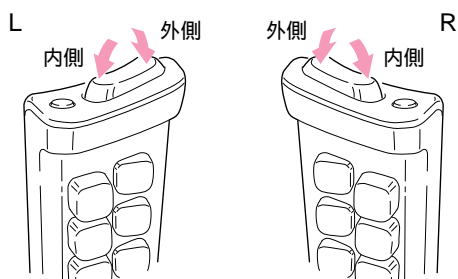
右手首( リスト・センサーR )を動かすと、音程をコントロールすることができます。外側に曲げると音程が高くなり、内側に曲げると音程が低くなります。

\* 右手首を細かく揺らすとピブラート効果を得ることができます。



グリップ・ユニットR( 右側 )の親指スイッチを押しながら右手首を動かすと音程が変化する度合い( ピッチバンドレンジ )が倍になります。

補助的な音色変化( シーソーコントローラー ).....



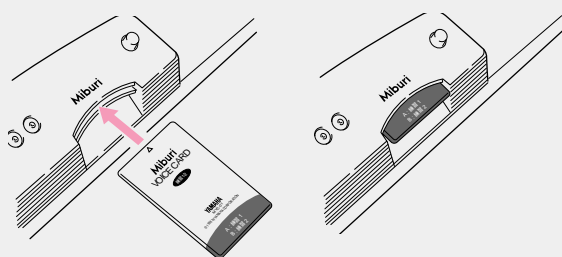
ボイスによってはシーソーコントローラーで補助的な音色効果をつけることができます。内側に倒した場合と、外側に倒した場合の効果は、ボイスによって異なります。また、L, Rの効果もボイスによって異なります。( 24ページ「ボイス / センサー別効果リスト」参照 )



## ボイスの選択

プリセットボイス12音色(1~12)、カードボイス2音色(cA, cb)の中からボイスを選択するには、下記の3種類の方法があります。

### ボイスカードの使用方法

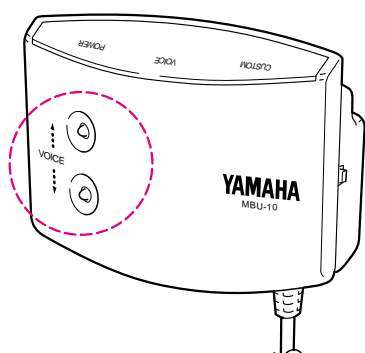


付属のボイスカードには、ミブリで使用するボイスデータが記録されています。ボイスカードを鳴らす時は、サウンド・ユニットのCARDスロットにボイスカードを挿入します。この時、左のイラストを参照してカードの方向、表裏を間違えないように挿入してください。

#### ボイスカード取扱上の注意

- カードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードを曲げたり、落としたりしないでください。また、温度、湿度の極端な場所に保管しないでください。
- ボイスカード以外のものを差し込まないでください。

### ベルト・ユニットでボイス選択



VOICE ボタンを押すと、ボイスナンバーがひとつずつ増加し、押し続けると連続して増加します。

VOICE ボタンを押すと、ボイスナンバーがひとつずつ減少し、押し続けると連続で減少します。

ディスプレイに表示される“c”はカードボイスを意味します。

ボイスナンバーの動きは下記ようになります。

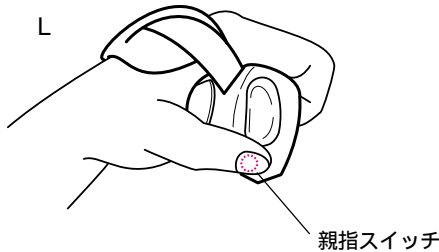
#### [ベルト・ユニットのディスプレイ]

←[ 1 ]→[ 2 ]→[ 3 ]→[ 4 ]→[ 5 ]→[ 6 ]→[ 7 ]→[ 8 ]→  
[ 9 ]→[ 10 ]→[ 11 ]→[ 12 ]→[ cA ]→[ cb ]→

#### [サウンド・ユニットのVOICEボタン表示]

←[ 1 ]→[ 2 ]→[ 3 ]→[ 4 ]→[ 5 ]→[ 6 ]→[ 7+ ◀ ]→[ 8+ ◀ ]→  
[ 9+ ◀ ]→[ 10+ ◀ ]→[ 11+ ◀ ]→[ 12+ ◀ ]→[ CARD A ]→  
[ CARD B+ ◀ ]→

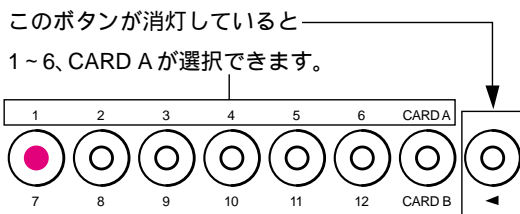
## グリップ・ユニットLでボイス選択 .....



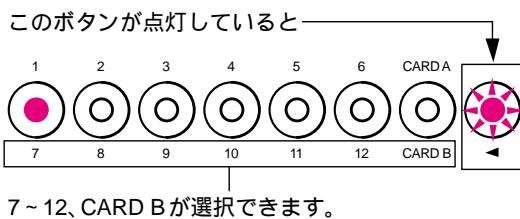
グリップ・ユニットL(左側)の親指スイッチを押すと、ボイスナンバーがひとつずつ増加します。

## サウンド・ユニットでボイス選択 .....

サウンド・ユニットのVOICEボタン(7)~6(12)、CARD A(CARD B)、◀(一番右のボタン)を押すと、その組み合わせでボイスを直接選択することができます。



ボイスナンバー1~6、CARD Aボイスを選ぶときは・・・  
VOICEボタン1~6、CARD Aを押します。(一番右の◀ボタンが点灯しているときは、◀ボタンを押して消灯させてください。)



ボイスナンバー7~12、CARD Bボイスを選ぶときは・・・  
◀ボタン(一番右のボタン)を押して点灯させてから、VOICEボタン7~12、CARD Bを押します。(◀ボタンが点灯しているときは、ボタンの下に紫色で書かれたボイスが選択されています。)

- \* ベルト・ユニットの電源が入っていない時は、サウンド・ユニットのVOICEボタンが点滅します。
- \* ボイスカードのボイス([ cA || cb ])は、CARDスロットにボイスカードが挿入されている場合のみ選択できます。ボイスカードが挿入されていない時は、サウンド・ユニットのCARD A(CARD B)ボタンが点滅し、選択できないことを知らせます。
- \* 電源を入れると、以前電源を切ったときに使用していたボイスナンバーが呼び出されます。

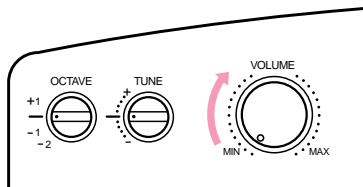
## ボイス / センサー別効果リスト

	音色名	コメント	ショルダー・センサー	
			R	L
1	Celluloid (セルロイド)	あぶく音色や水音、スチールドラムからマリンバまで、万華鏡のように変化する音色。	3オクターブの音色追加	あぶく変調
2	FoggyAtk (フォギーアタック)	シャリッとしたアタック感を持つシンセストリングス。	倍音全般の変化 (コーラス感)	高調波成分の変化 (ノイズトーン)
3	Glowly (グローリー)	さまざまなキャラクターを形態するノイズストリングス。	水音の速さと量	4オクターブ上に加わる
4	Wind Voice (ウインドボイス)	オンドマルトノやテルミン的なキャラクターを持つ音色。	リバーブの深さ	音色変化 (パワーブースト)
5	OrientMood (オリエントムード)	オリエンタルな雰囲気を持った音色。 左肩のキラキラ音色が効果的。	倍音の変化	キラキラ音色追加
6	GonGoo!! (ゴングー)	モジュレーション系の音色効果による変化を特徴に持つ、エレクトリック・ベース系音色。	音色変化 (シンセベース風)	スベイスーパーなノイズ追加
7	EuRipper (ヨーリッパー)	ヨーロッパや中東の民族楽器に似た笛系の音色。	音質変化 (ざらざらした感じに)	デチューン効果 (上げると単音に)
8	ClaraLip (クララリップ)	木管のキャラクターに金属的な要素を含んだ音色。	基音シフト	ノイズ音を含んだ高速変調
9	Hyp.Drive (ハイパードライブ)	ディストーションの掛かったパワフルなリードギター風音色。	ドライブ感 (ミュート)	音色変化 (ワウワウ & スクリーム)
10	Metallic (メタリック)	さまざまな質感を持ったチャイム系音色。	変調	ノイズパッド音色追加
11	Amazon (アマゾン)	極めてユニークなパーカッション音色。獣のような叫び声からオモチャのような音色まで様々なキャラクターを持つ。	音質変化 (甲高い音、音の固さ)	深くて速い変調
12	PluckToot (ブラクトゥート)	弦をおもいっきり強く弾いたようなブラック音色とハーモニカの複合音色。高 低音階のトリルが効果的。	音質変化 (ミュート音色)	ハーモニカ音色を追加
カードA	_____	笛系の音色。	_____	_____
カードB	_____	ストリング系の音色。	_____	_____

シーソーコントローラー				リスト・センサー	
R外側	R内側	L外側	L内側	R	L
音質変化 (ミュート音色)	基音成分と レゾナンス変化	鐘音の音色変化	音質変化 (ノイズになる)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音の輪郭	オクターブシフト R/1オクターブ上がる L/1オクターブ下がる	基音成分と レゾナンス変化	変調の深さ	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音質変化 (音の固さ)	基音成分のミュート (ノイズトーン)	音質変化 (コーラス感)	音色変化(ベル)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音質変化(音の太さ+ フィルター)	音質変化 (歪んだ感じに)	変調の深さ (トレモロ)	変調の深さ	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
基音のミュート (左肩が上がっている時 キラキラ音色だけになる)	風音追加 (ノイズトーン)	変調の深さ (速く)	変調の深さ (遅く)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音質変化 (質感の変化)	オクターブ上がってL/Rで 4度のハーモニーになる	音質変化	アップノイズ (ピッチが上昇する)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
リバーブの深さ	音色変化 (ノイズに)	変調の深さ (トレモロ)	変調の深さ	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音質変化 (フィルター)	音色変化 (プレスノイズ)	音色変化 (プラス風)	変調の深さ	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音色変化 (シンセリード音色)	音色変化 (オーバードライブ風)	変調(速く)	変調 (ミディアム)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
音質変化	音質変化 (シロフォン風に)	音質変化 (音の輪郭の強調)	音質変化 (質感の厚み)	ピッチベンド・ビブラート (親指スイッチR+ ベンドアップで鐘音)	メイン ボリューム
音色変化 (怪獣の叫び声)	音質変化 (ノイズトーン)	音質変化 (音の太さ)	音質変化 (フィルター&ワウ)	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
ハーモニカ音色ブースト (左肩が上がっている時)	音質変化 (金属成分を強調)	音色変化 (歪んだ音色)	変調の深さ	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
—————	—————	—————	—————	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム
—————	—————	—————	—————	ピッチベンド・ ビブラート	メイン ボリューム

## ボリューム / オクターブ / チューン

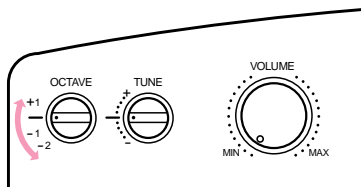
### ボリューム



サウンド・ユニットのVOLUME( ボリューム )を回して、音量を調節します。

MIN( 最小 )側に回すと音量が小さくなり、MAX( 最大 )側に回すと音量が大きくなります。

### オクターブ



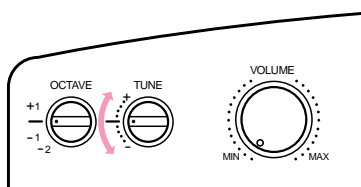
サウンド・ユニットのOCTAVE( オクターブ )を回して、音程を調節します。

“ + 1 ”で1オクターブ音程が高くなり、“ - 1 ”で1オクターブ音程が低くなり、“ - 2 ”で2オクターブ音程が低くなります。

“ - ”で±0オクターブ( ノーマル )の音程になります。

	演奏範囲
+1	C2 ~ C6
-	C1 ~ C5
-1	C0 ~ C4
-2	C-1 ~ C3

### チューン



サウンド・ユニットのTUNE( チューン )を回して、音程を微調整します。他の楽器とピッチを合わせる場合に便利です。

“ + ”側に回すと音程が高くなり、“ - ”側に回すと音程が低くなります。( 設定範囲 ± 73.8セント : 100セント = 半音 )

\* TUNEを中央( - )に設定した時、A=440Hzです。

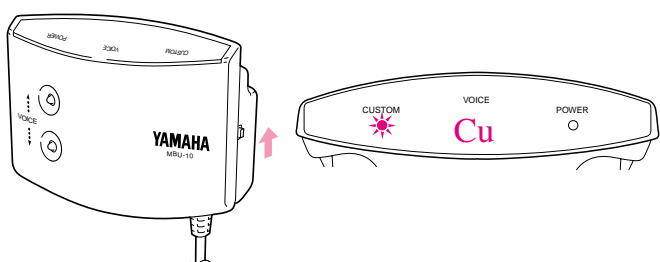


# カスタマイズ

カスタマイズとは、ミブ리를演奏する人それぞれの身体の動きの大きさ(動作幅)を、ベルト・ユニットに記憶させる操作です。カスタマイズには「センサー全体のカスタマイズ」と「センサー別カスタマイズ」の2種類があります。ミブ리를装着した時は「センサー全体のカスタマイズ」を行います。エルボー・センサーのスレッシュホールドなどがおかしいなと思ったら「センサー別カスタマイズ」を行ってみましょう。

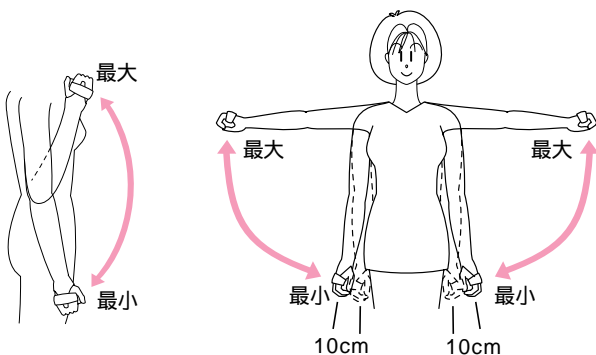
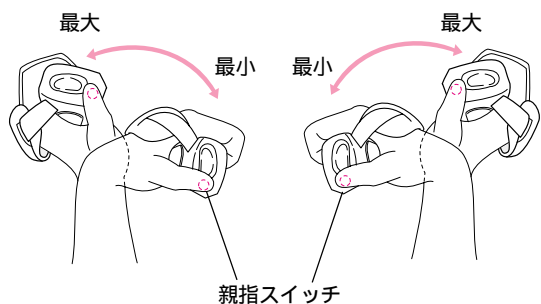
\* カスタマイズを実行する前に、サウンド・ユニットとベルト・ユニットの電源が入っていることを確認してください。

## センサー全体のカスタマイズ.....



**1** ベルト・ユニットのCUSTOM(カスタマイズ)スイッチをON側にスライドさせ、カスタマイズモードに入ります。ディスプレイに“Cu”が表示された後、消灯します。CUSTOMランプが点灯します。(カスタマイズモード)

**2** グリップ・ユニット(両手)の親指スイッチを押しながら、両手の手首を左右に、ひじ、肩(腕全体)を上下に大きく1往復以上動かします。



\* ショルダー・センサーのカスタマイズは、肩(腕全体)をまっすぐに下ろした位置から、10cm程度上げた位置に最小値を設定すると、実際の演奏状態に合います。

### カスタマイズ表示

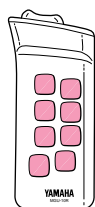
	エルボーL上側スレッシュホールド通過時に点灯
	エルボーL下側スレッシュホールド通過時に点灯
	ショルダーL最大値を上回っている時に点灯
	ショルダーL最小値を下回っている時に点灯
	リストL最大値を上回っている時に点灯
	リストL最小値を下回っている時に点灯
	親指スイッチLを押したとき点灯、離れたとき消灯

	エルボーR上側スレッシュホールド通過時に点灯
	エルボーR下側スレッシュホールド通過時に点灯
	ショルダーR最大値を上回っている時に点灯
	ショルダーR最小値を下回っている時に点灯
	リストR最大値を上回っている時に点灯
	リストR最小値を下回っている時に点灯
	親指スイッチRを押したとき点灯、離れたとき消灯

# カスタマイズ

カスタマイズ更新表示(すばやく2回点滅)

00 ショルダーL	00 ショルダーR
00 エルボーL	00 エルボーR
00 リストL	00 リストR



いずれかのキーを押します

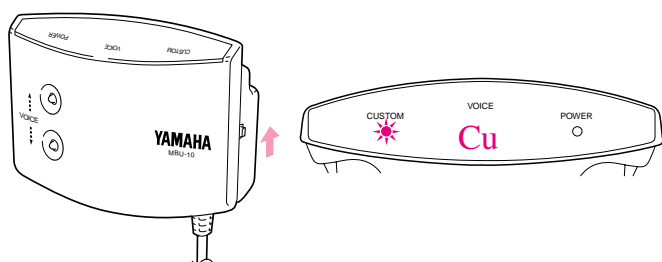
**3** グリップ・ユニット(両手)の親指スイッチを離すと、値が更新された場合は、左の表示後に、新しい値を記憶します。

\* ベルト・ユニットは、電源を切ってもケーブルをはずしてもカスタマイズした内容を約2週間記憶しています。ただし、不感帯のカスタマイズ(P.29参照)は電源を入れたときにイニシャライズ(初期化)されます。

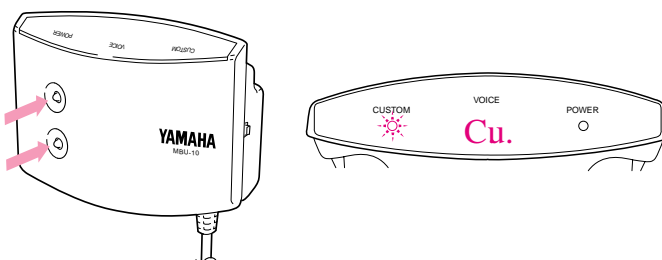
\* センサーの可動範囲が極度に狭い場合は、カスタマイズの設定値は更新されません。

**4** グリップ・ユニット(両手)のナチュラルキー、またはシャープキーのいずれかを押すと、カスタマイズモードから抜けます。

## センサー別カスタマイズ



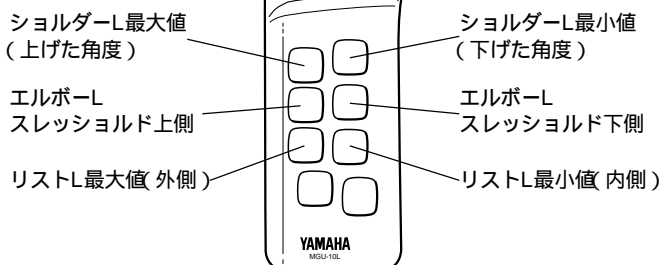
**1** ベルト・ユニットのCUSTOM(カスタマイズ)スイッチをON側にスライドさせ、カスタマイズモードに入ります。ディスプレイに“Cu”が表示された後、消灯し、CUSTOMランプが点灯します。(カスタマイズモード)



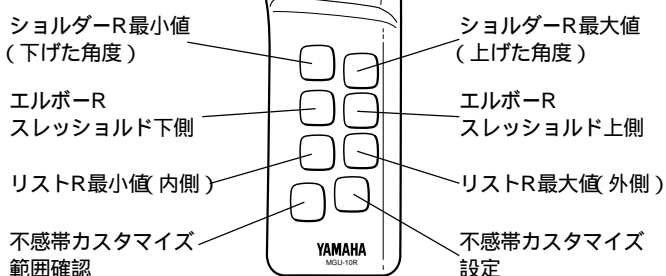
**2** ベルト・ユニットのVOICEボタン と を同時に押すと、センサー別カスタマイズモードに入ります。ディスプレイに“C.u.”が表示された後、消灯し、CUSTOMランプが点滅します。



## グリップ・ユニットL



## グリップ・ユニットR

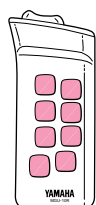
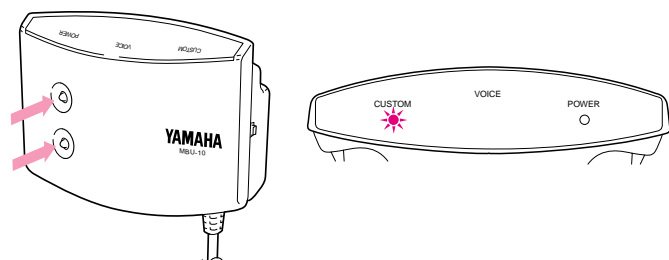


**3** 直接指定したいセンサー部分を動かしながら、それに対応するグリップ・ユニットのキーを押します。ベルトユニットの該当するLEDが点灯して、どのセンサーのカスタマイズが実行されたかを表示します。

- \* 不感帯カスタマイズとは、リスト・センサーRのピッチの変化しない範囲を設定することです。不感帯を設定することにより、腕全体の動きにしたがって、リストが動いてしまった場合のピッチ変化を防ぐことができます。
- \* センサー別カスタマイズ設定中は、センサー全体のカスタマイズ設定はできません。

## カスタマイズ表示

0.0	エルボーL上側 スレッシュールド	0.0	エルボーR上側 スレッシュールド
0.0	エルボーL下側 スレッシュールド	0.0	エルボーR下側 スレッシュールド
0.0	ショルダーL最大値	0.0	ショルダーR最大値
0.0	ショルダーL最小値	0.0	ショルダーR最小値
0.0	リストL最大値	0.0	リストR最大値、および 不感帯最大値
0.0	リストL最小値	0.0	リストR最小値、および 不感帯最小値



いずれかのキーを押します

**4** ベルト・ユニットのVOICEボタン と を同時に押すと、CUSTOMランプが点灯し、カスタマイズモード( **1** )の状態 )に戻ります。

グリップ・ユニット( 両手 )のナチュラルキー、またはシャープキーのいずれかを押し、カスタマイズモードから抜けます。

- \* センサー別カスタマイズ中に、ベルトユニットの電源を切っても、カスタマイズ設定値は記憶されています。ただし、不感帯カスタマイズは記憶されません。

楽譜を見ながら、練習曲『きらきら星』、『オーラリー』を演奏してみましょう。

## きらきら星

この楽譜では、グリップ・ユニットR(右手)だけを押さえて練習します。

# 練習曲を演奏してみましょう

\* この楽譜では、グリップ・ユニットRを使って押さえるキーを表示しています。グリップ・ユニットは、L、R、どちらを使用しても構いません。

\* 「ミ」と「ソ」のポーズは2種類 P.18, 19参照 あります。この楽譜では演奏しやすいポーズを表示していますが、もうひとつのポーズを使用しても構いません。

## (フランス民謡)

# 練習曲を演奏してみよう

## オーラリー

レ ソ ファ ソ ラ ミ ラ

ソ ファ ソ ラ ミ ラ

シ ファ シ

ド シ ラ ミ ラ ソ

# 練習曲を演奏してみましょう

\* この楽譜では、グリップ・ユニットRを使って押さえるキーを表示しています。グリップ・ユニットは、L、R、どちらを使用しても構いません。

\* 「ミ」と「ソ」のポーズは2種類 P.18, 19参照 あります。この楽譜では演奏しやすいポーズを表示していますが、もうひとつのポーズを使用しても構いません。

## (イギリス民謡)

# MIDIについて

ミブりはリアパネルにMIDI OUT端子がついています。  
MIDI機能を活用すれば、音楽の可能性を上げることができます。

## MIDIとは？ .....

MIDI( ミディ )とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうしで( またはコンピューターなどと )演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。たとえば、複数のMIDI楽器( 機器 )をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

## MIDI端子について .....

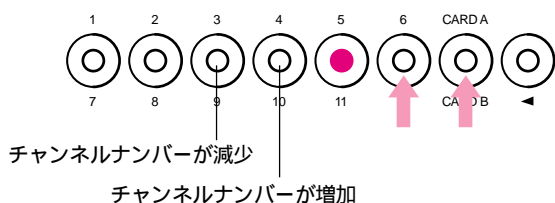


MIDI OUT

サウンド・ユニットのリアパネルのMIDI OUT端子は、ミブりの演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。

- \* MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル( 別売 )が必要です。楽器店などで買い求めください。
- \* あまり長いケーブルを使用すると、情報伝達が遅れたり、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

## MIDI送信チャンネルの設定 .....



VOICEボタンの送信チャンネル表示  
( ... 消灯、... 点灯 )

	1	2	3	4	5
Ch.1					
Ch.2					
Ch.3					
Ch.4					
Ch.5					
Ch.6					
Ch.7					
Ch.8					
Ch.9					
Ch.10					
Ch.11					
Ch.12					
Ch.13					
Ch.14					
Ch.15					
Ch.16					

- 1** VOICEボタンの「6」と「CARD A」を同時に押すと、現在設定されている送信チャンネルが表示されます。( 左表参照 )
- 2** VOICEボタンの「6」と「CARD A」を同時に押したまま、VOICEボタンの「4」を押すとチャンネルナンバーがひとつずつ増加し、VOICEボタンの「3」を押すとひとつずつ減少します。
- 3** VOICEボタンの「6」と「CARD A」を離すと送信チャンネルが設定されず。

- \* 電源を切り、もう一度電源を入れると送信チャンネルは「1」に戻ります。
- \* MIDI送信データに関する詳細は、次頁の「MIDIインプリメンテーションチャート」を参照して、より高度な演奏にチャレンジしてください。

YAMAHA[ Miburi SOUND UNIT ]

Date: 12/21 1994

Model MSU-3

## MIDI インプリメンテーションチャート

Version: 1.0

ファンクション	送信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能 1 1~16チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用 モード 3 × *****	
ノート ナンバー : 音域	36~84 *****	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ 9nH, v=7~127 8nH, v=7~127	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別 × ×	
ピッチ・ベンド		右リスト
コントロール チェンジ	7 80 81 82 83 91 92	左リスト 右ショルダー 左ショルダー 右シーソーコントローラー外側 左シーソーコントローラー外側 右シーソーコントローラー内側 左シーソーコントローラー内側
プログラム チェンジ : 設定可能範囲	0~13 *****	
エクスクルーシブ	×	
コモン	:ソング・ポジション :ソング・セレクト :チューン × × ×	
リアル タイム	:クロック :コマンド × ×	
その他	:ローカルオン/オフ :オール・ノート・オフ :アクティブセンシング :リセット × × ×	
備考		

モード 1: オムニ・オン、ポリ  
モード 3: オムニ・オフ、ポリ

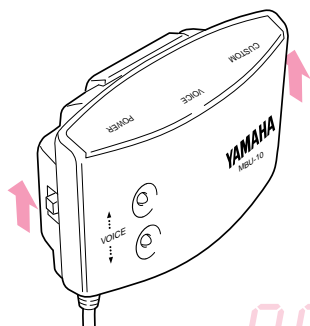
モード 2: オムニ・オン、モノ  
モード 4: オムニ・オフ、モノ

:あり  
×:なし



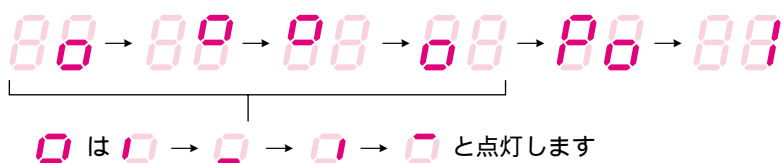
# 初期化(イニシャライズ)の方法

ミブリの各センサーのカスタマイズ値は、電源を切ってもベルト・ユニットに約2週間記憶されていますが、以下の方法で初期設定(工場出荷時の設定)に戻すことができます。ミブ리를初期設定に戻すことを「初期化」と呼びます。



ベルト・ユニットのカスタムスイッチを上にした状態で、電源を入れます。

ディスプレイに以下の表示を行った後、通常の演奏モードに入ります。(ボイスナンバーは「1」を選択)



# エラーメッセージについて

エラーメッセージは、ミブリの接続の異常などを表す重要なメッセージです。メッセージを理解して、確実な接続を行ってください。

VOICE (点滅)	L側ユニット(グリップ・ユニットL、L側のセンサーケーブル・ユニットなど)の接続エラーです。
VOICE (点滅)	R側ユニット(グリップ・ユニットR、R側のセンサーケーブル・ユニットなど)の接続エラーです。
VOICE (点滅)	グリップ・ユニットL、R両方、またはL、R両側のセンサーケーブル・ユニットの接続エラーです。
VOICE (点滅)	グリップ・ユニットLを2つ接続したエラーです。このときサウンド・ユニットのVOICEランプも点滅します。
VOICE (点滅)	グリップ・ユニットRを2つ接続したエラーです。このときサウンド・ユニットのVOICEランプも点滅します。

# 故障かな? と思ったら

現象	原因	解決方法
サウンド・ユニットのPOWER スイッチを押して、電源を入れたときにポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
グリップ・ユニットのキーを押しても、音が鳴らない。	コードがしっかりと接続されていません。	コードがしっかりと接続されているか、確認してください。
	サウンド・ユニットのVOLUMEが下がっています。	VOLUMEコントロールを回して、音量を上げてください。
	PHONES端子に、ヘッドフォンが接続されています。	ヘッドフォンをPHONES端子から抜いてください。
カードボイスが選択できない(鳴らない)。	ボイスカードがしっかりと差し込まれていません。	ボイスカードがしっかりと差し込まれているか、確認してください。
音階が正しく鳴らない。	エルポー・センサーが正しい位置に固定されていません。	P.14 参照
	カスタマイズをしていません。	P.27 参照

# オプション商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-170 .....	¥7,000
	HPE-160 .....	¥5,500

## 交換用パーツ

センサーケーブルユニット(片側).....	¥15,000
ウェア(ベルト付) .....	¥10,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

# ミブリ仕様

音源方式	ミブリ専用新音源	寸法(W×H×D)	サウンド・ユニット	740×247×303 mm
最大同時発音数	2音	電源	AC 100V	38W
発音音域	C-1～C6		ベルト・ユニットはサウンド・ユニットからDC 供給	
音色	プリセットボイス12音色 カードボイス2音色	スピーカー	(13cm+5cm)×2	
重量	サウンド・ユニット 6.0 kg スタンド 2.2 kg	アンプ	実用最大出力 20W + 20W(EIA.J)	
		AUX OUT 出カインピーダンス	600	
		AUX IN 入カインピーダンス	10k	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

# 索引

<b>ア</b>		<b>コ</b>		<b>ヒ</b>	
アジャスター .....	13	効果 .....	20, 21	ピッチバンド .....	21
<b>イ</b>		<b>サ</b>		ビブラート .....	21
イニシャライズ(初期化) .....	36	サウンド・ユニット .....	5, 8, 23, 26	<b>フ</b>	
<b>ウ</b>		<b>シ</b>		不感帯 .....	29
ウェア .....	4, 14	シーソーコントローラー .....	21	フラット .....	20
<b>エ</b>		シャープキー .....	20	フロムベルトユニット (FROM BELT UNIT 端子) .....	15
エクスターナルイン端子(EXT. IN) .....	4	初期化(イニシャライズ) .....	36	<b>ヘ</b>	
エラーメッセージ .....	36	ショルダー(肩)センサー .....	20	ヘッドフォン(PHONES 端子) .....	11
エルボ(ひじ)センサー .....	18, 19	<b>ス</b>		ベロシティ .....	20
AC インレット(AC INLET) 端子 .....	10	スタンド .....	8	ベルト .....	13
<b>オ</b>		スレッシュールド(境界線) .....	17	ベルト・ユニット .....	4, 15, 16
オクターブ(OCTAVE) .....	20, 26	<b>セ</b>		<b>ホ</b>	
親指スイッチ .....	17, 21, 23, 27	センサー .....	6	ボイス .....	22
音階 .....	18	センサーケーブル・ユニット .....	12	ボイスカードの使用法 .....	22
音程 .....	26	センサー固定ベルト .....	14	ボイス(VOICE / )ボタン .....	22
音量 .....	26	<b>チ</b>		ボイス(MIBURI VOICE)ボタン .....	23
AUX IN(L/L+R, R) 端子 .....	11	中継ケーブル .....	15	ポーズ .....	18, 19
AUX OUT(L/L+R, R) 端子 .....	10	チューン(TUNE) .....	26	ボリューム(VOLUME) .....	26
<b>カ</b>		<b>テ</b>		<b>ミ</b>	
カスタマイズ .....	17, 27	ディスプレイ .....	16, 27	MIDI OUT端子 .....	11, 34
カスタマイズ(CUSTOM)スイッチ .....	17, 27	<b>ナ</b>		<b>リ</b>	
カスタマイズ(CUSTOM)ランプ .....	17, 27	ナチュラルキー .....	20	リスト(手首)センサー .....	21
カード(CARD)スロット .....	22	<b>ハ</b>			
カード(ボイス)選択 .....	22	パワー(POWER)スイッチ (ベルト・ユニット) .....	16		
<b>ク</b>		パワー(POWER)ランプ (ベルト・ユニット) .....	16		
グリップ・ユニットL, R .....	5, 20, 21	パワー(POWER ON/OFF)スイッチ (サウンド・ユニット) .....	16		

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

## 保証書

ミブリには保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

尚、ウェアは保証の対象外とさせていただきます。

## 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

有料にて修理させていただきます。

## 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## 修理のご依頼

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、下記の「問い合わせ先」に修理をお申し付けください。

## 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## 問い合わせ先

営業窓口 楽器統括本部 Miburiプロジェクト東京  
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 ヤマハ 渋谷店内  
TEL. 03-3476-5501

本社 楽器統括本部 Miburiプロジェクト浜松  
〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL. 053-460-3277

# ヤマハ株式会社